国道17号
浦佐バイパス

長岡市方面より浦佐バイパスを望む

概要

国道１７号は、東京と新潟を結ぶ重要な幹線道路であり、物流の大動脈として産業･経済の発展に寄与しているとともに、地域間の交流促進及び沿線市町村との連携強化、並びに地域の生活を支える道路としても重要な役割を担っています。

しかし、南魚沼市浦佐地内の上越新幹線に並行する現道区間では、冬期除雪障害等が問題となっています。

浦佐バイパスは、除雪障害の解消、魚野川の洪水時の路面冠水及び春先に発生する濃霧区間を回避するとともに、魚沼地域における医療高度化に向け平成27年6月に開院した第三次救急医療機関である「魚沼基幹病院」へのアクセス向上を目的とした、南魚沼市市野江甲～魚沼市虫野間の延長6.6kmのバイパス事業です。

期待される効果

①冬期の除雪障害の解消

魚沼地域は日本有数の豪雪地帯であり、浦佐バイパス現道区間には、JR上越線と魚野川に挟まれた十分な路肩を確保できない区間があり、道路脇にたまった雪を運び出す運搬排雪作業により、通行障害が生じています。

バイパスの整備により冬期間における円滑な交通の確保が期待され、安全性･信頼性の向上が期待されます。

冬期路肩および車線が確保困難な状況
また除雪障害区間では走行速度が低下

除雪作業による混雑状況

運搬排雪の状況

②冠水・濃霧区間の回避による災害に強い道路ネットワークの形成

魚野川が洪水により氾濫するとJR上越線と並行する国道17号区間は、冠水し通行できなくなります。

また、この区間は春先になると濃霧が発生し、交通阻害になっています。

バイパスの整備により冠水･濃霧区間を回避でき、安全な走行の確保が期待されます。

現道区間の霧の発生状況

※出典：南魚沼市洪水ハザードマップ

現道区間の冠水想定区域

事業の経緯

昭和63年度	事業化		
平成 3 年度	都市計画決定		
平成 5 年度	用地着手		
平成 9 年度	工事着手		
平成13年 3 月27日	(主)塩沢大和線～(一)下折立浦佐停車場線間	開通	延長1.1km
平成24年12月22日	(一)下折立浦佐停車場線～(一)雷土新田浦佐線間	開通	延長1.1km
平成26年11月30日	魚沼市十日町地先	開通	延長1.8km
令和 3 年12月11日	魚沼市大浦～虫野間	開通	延長1.0km

ふる里のぬくもり伝える道づくり
国土交通省北陸地方整備局
長岡国道事務所
〒940-8512　新潟県長岡市中沢4丁目430-1
TEL.0258-36-4551(代) FAX.0258-33-7566
【ホームページアドレス】https://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/
【E-mail】chokoku@hrr.mlit.go.jp

R６.３作成

国土交通省北陸地方整備局
長岡国道事務所

国道17号浦佐バイパス

【写真②】(R3.11撮影)
魚沼市大浦～虫野

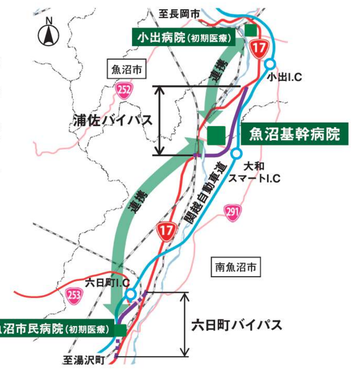
【写真①】(H27.5撮影)
水の郷工業団地
魚沼基幹病院
(H27.6開院)
都市公園「浦佐地区」
浦佐バイパス沿線の開発状況（浦佐地区より新潟市方面を望む）

期待される効果

③第三次救急医療機関（魚沼基幹病院）へのアクセス向上

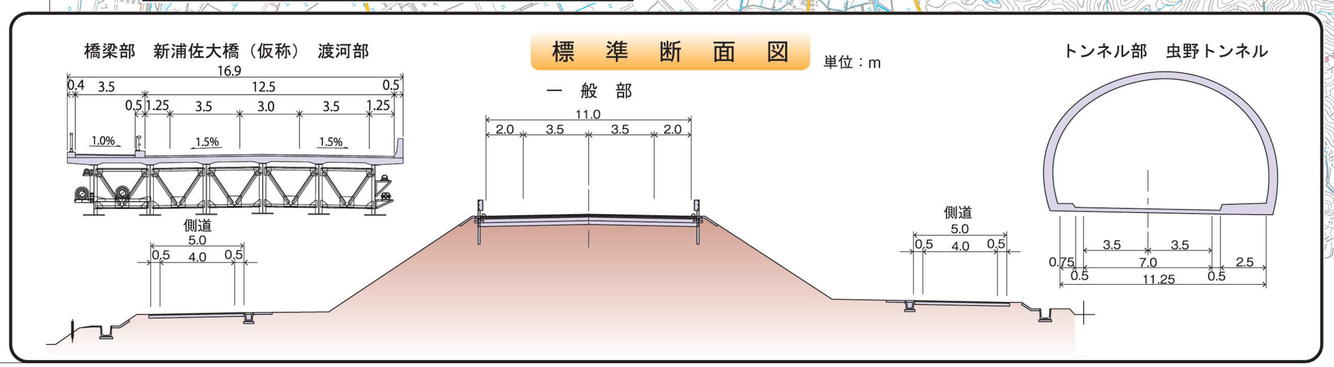
浦佐バイパスの整備により、平成27年6月に開院した「魚沼基幹病院」へのアクセス性が向上し、一刻を争う救急患者の救命率の向上が期待されます。

また、「魚沼基幹病院」と初期医療を担う既存の小出病院及び南魚沼市民病院との結びつきを強化することで、地域医療機関とのネットワーク形成や健康関係ビジネスの創出など、地域活性化への貢献も期待されます。



標準断面図

単位：m



凡例			
	浦佐バイパス		第一種中高層住居専用地域
	高速自動車道		第二種中高層住居専用地域
	国道（指定区間）		第一種住居地域
	国道（指定区間外）		準住居地域
	主要地方道		近隣商業地域
	一般県道		商業地域
	都市計画道路		準工業地域
	第一種低層住居専用地域		工業地域
	第二種低層住居専用地域		都市計画公園

交通センサス　2021年度(T'21)12時間交通量(台/12h)　2021年度(T'21)24時間交通量(台/24h)

事業の概要

事業名	国道17号浦佐バイパス
起終点	(起)南魚沼市市野江甲 (終)魚沼市虫野
延長	6.6km
構造 規格	第3種第2級　設計速度60km/h 車線数2車線

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 428」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

調製　株式会社 滝沢印刷　〒948-0082 新潟県十日町市本町2丁目325番地2　☎ 025-757-2191